

当社の環境への取組み

事業をととした環境負荷低減活動

環境貢献を三菱電機グループは取り組むべき最重要課題の一つと位置づけ、気候変動、資源枯渇、生物多様性の損失をはじめとしたさまざまな環境問題の解決に向けて、新しい価値の創出に挑戦し、持続可能な未来の実現に貢献します。当社においても事業を通じた環境負荷低減活動に取り組んでおり、お客様のご家庭や施設・工場等における20年度のCO₂削減貢献量は全社で12,085tであり、杉の木86万本分の年間CO₂吸収量と同等です。

※1 貢献量については一部想定を含みます
※2 林野庁HPより 杉の木1本あたりのCO₂吸収量14kgで換算

総合営業本部

環境エネルギーソリューション事業の提案
(省・創(再)・蓄エネの設備と制御システム)
・電気使用時のCO₂削減に貢献



20年度削減貢献：2,494t-CO₂

商品本部

家庭用電化製品の修理・保守
省エネ製品の拡販(空調機器、給湯機)
・廃棄物削減に貢献
・製品使用時のCO₂削減に貢献



20年度削減貢献：3,745t-CO₂

機電本部

最新のFA制御・駆動機器への更新と 拡販
(シーケンサ、サーボモータ、ロボットなど)
・生産時のCO₂削減に貢献



20年度削減貢献：2,414t-CO₂

電子本部

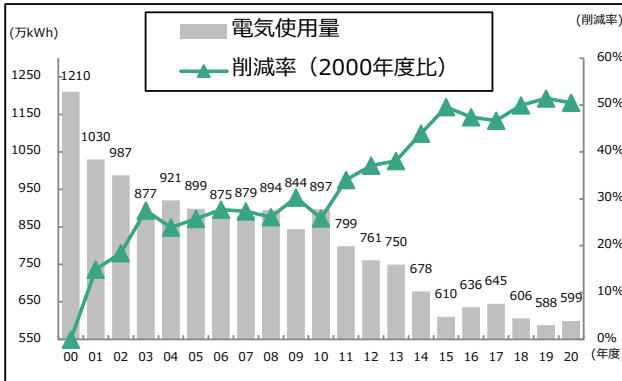
ビデオ会議システムの拡販
・移動時のCO₂削減に貢献



20年度削減貢献：3,432t-CO₂

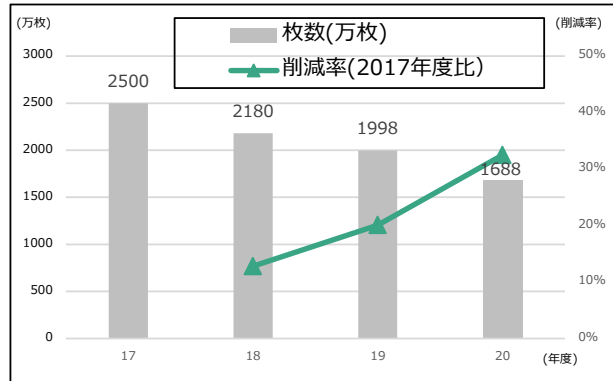
電気使用量削減

太陽光発電システムの導入、旧型空調機の更新、照明のLED化、デマンド監視装置の導入等により、省エネ活動に取り組んでいます。当社は省エネ法の『事業者クラス分け評価制度』で2020年度にSクラスの評価を受けております。(2019年度実績分)



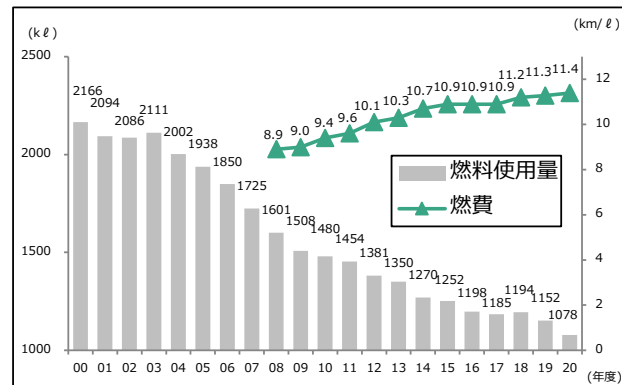
ペーパーレス化の推進

資料のモニター投影やタブレット・ノートパソコンの活用による会議資料の電子化や帳票類の電子化、申請・承認業務のシステム化を実施し、ペーパーレス化を推進しています。全社で毎年10%程度、紙使用量を削減しています。



燃費向上

全てのサービスカーでエコドライブを徹底し、燃料使用量の削減と燃費の向上を図っています。また、ハイブリッド車の導入など、燃費の良い車両への切り替えを積極的に行っています。



廃プラスチックリサイクル率向上

環境省が策定した「プラスチック資源循環戦略」では2035年までにすべての使用済みプラスチックをリユース又はリサイクル、それが技術的・経済的な観点から難しい場合には熱回収も含め100%の有効利用を目指しています。当社においても「プラスチック資源循環戦略」の主旨に沿い、廃プラスチックのリサイクル率向上に努めております。

2020年度は廃プラスチックリサイクル率が全社で79%でした。
2021年度は廃プラスチックリサイクル率85%を目標と掲げ、更なる向上に取り組んでいます。

